

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 19年 8月 21日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2873002014		
法人名	社会福祉法人 サンシャイン		
事業所名	グループホームサンプラザやすらぎ		
所在地	尼崎市蓬川町331番4号 (電話) 06 (4869) 5770		
評価機関名	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会		
所在地	神戸市中央区坂口通2-1-18		
訪問調査日	平成19年6月23日	評価確定日	平成19年8月21日

## 【情報提供票より】(H19年6月13日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 10月 10日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7人	常勤	5人, 非常勤 2人, 常勤換算 7人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4階建ての		3階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	35,000 円
敷金	有( 円) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> (500,000円) 無 <input type="radio"/>	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="radio"/> / 無 <input type="radio"/>
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		800 円

### (4) 利用者の概要(6月13日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.1歳	最低	80歳	最高	99歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	田中病院・昭和病院・いいづか病院
---------	------------------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

阪神電車の最寄駅より徒歩10分内で、ホーム周辺には県営・市営住宅や小学校がある。利用者や家族とのコミュニケーションを大切にし、利用者の主体性を尊重して意見や希望を積極的に取り入れている。食事も1日3食ホームで作っており、利用者と一緒に買い物や調理・後片付けを行うなど、入居前の生活を大切にしたい家庭的な環境づくりを心がけている。  
介護計画について利用者や家族の意向・意見を中心に作成しているため、今後は1ヶ月程度の期間で計画を改めて見直していくことが望まれる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)
	前回の改善課題の中から、運営理念の玄関前掲示や職員の記録閲覧の徹底のためのチェックなど、具体的に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4)
	職員全員で協議して自己評価に取り組んだ。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6)
	地域代表や地域包括支援センター職員の参加など、外部からの意見を出してもらい、また家族にも積極的な参加と意見を出してもらえるように努め、よりよいホーム作りに取り組んでいる。その結果、家族等が独自に集まる「保護者会」発足の運びとなった。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8)
	毎月ホームの便りを送付したり、家族の訪問時や、手紙・電話で利用者の様子を伝えるようにしている。家族とのコミュニケーションは大切にして、苦情や意見を出してもらえるように雰囲気作りに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3)
重点項目	自治会に加入しており、ごみ当番やクリーン作戦等にも参加しているが、地域柄行事は少ない。職員が地元出身なので、地域の方からよろず相談的に相談を受けることもある。

## 2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームを住居ととらえ、利用者やホームが「地域の一員として」あることをモットーとしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「地域の一員として」をホーム内の事務所等に掲示し目に付くようにしている。理念を実現していく一つの手段として、利用者の希望する外出先の情報収集をして実行に向けて積極的に検討するなど、具体的な実践の中で話し合い取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、ごみ当番やクリーン作戦等にも参加しているが、地域柄行事は少ない。職員が地元出身なので、地域の方からよらず相談的に相談を受けることもある。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を受けた結果を全職員に報告し、あげられた課題にも具体的に改善に取り組んでいる。今回の自己評価は全ての職員で協議して行った。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	平成18年は5回、19年5月に1回実施している。利用者・家族、地域代表の方の意見や相談について話し合っている。その中で「家族だけで話し合いの場を設けたい」との意見が出て、家族等が独自に集まる「保護者会」が発足となった。		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市担当課へ出向いたり、メール等でホームの運営等に関して相談している。制度や法令の理解、運営上で困ったことがあれば気軽に相談したり話し合うことができる関係を築いている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月ホームの便りを送付したり、家族の訪問時や、手紙・電話で利用者の様子を伝えるようにしている。ホーム便り等は家族の訪問の機会に手渡しすることを心がけ、コミュニケーションの一助にしている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族とのコミュニケーションは大切にして、苦情や意見を出してもらえるように雰囲気作りに努めている。職員の関わり方について意見をもらったこともあり、ホームの中で指導をおこなったこともある。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	異動は可能な限りないようにしている。職員が退職の時には引き継ぎ期間を十分に取り、利用者にも話をして一緒に送別の機会を作っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	認知症ケアセミナー等の研修には、出張にしたり費用補助をするなど積極的に参加できるように考慮している。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	市内のグループホーム連絡会に加入し、事業所間交流（AホームにBホーム職員が研修に行く）を行っている。ホーム長は世話役を努めている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	空き部屋がないため体験入居は行っていないが、入居の前にはホームに日帰りできてもらうようにしている。併設のデイサービスがあり、デイサービス利用者でホーム入居の待機者である場合は、デイサービスの日にホームに遊びに来てもらう等している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	共に寄り添い、支えあう関係となるように心がけている。利用者の生活歴の中で自信を持てるものがあればホームでの生活に生かして職員が教えてもらう等している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>事務所は常に開放していつでも話をできる雰囲気にしており、人前で話しにくい方には居室で話を聞いている。一見まとまりのないような話でもよく聞き、意向を汲み取ろうとしている。</p>		
<b>クリーン</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月に1回のケアカンファレンスを実施している。日頃からのコミュニケーションを大切にして利用者や家族の希望の把握に努め、身体状況の面では排泄状態、バイタルチェックシートを作成し、計画に反映している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>見直しは3ヶ月に1回行っており、毎朝の朝礼時などその時々で確認したり、家族との連絡も大切にしている。ケア記録では、計画に対する目標達成となっている場合でも、計画の振り返りや評価という形ではまとめられていない。</p>		<p>作成した介護計画に基づいて目標達成内容を確認し、また達成された内容は次のステップに進むためにも、1ヶ月程度の期間で見直し、その内容を記録することが期待される。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制があり、看護師による医療・健康面での支援がある。併設のデイサービス利用者が不穏状態の時にホームに来て過ごしたこともある。利用者の入院中に、遠方の家族には居室を宿泊部屋として使ってもらったりしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の意向を大切にし、協力病院の医師の往診を受けたり、利用者のかかりつけ医受診への協力を行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者や家族の希望を尊重し、医師等とも相談しながら利用者の医療の必要度やホームでのケア体制状況等を総合的に判断して取り組んでいく方針である。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	入浴・排泄等利用者の尊厳に関わる支援には気をつけている。特に失禁時にはさりげなく対応することを心がけている。入浴も毎日行っているので常に利用者の希望も確認している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを把握するようにして、利用者の体調や希望に合わせて食事を遅らせたりと、各自のペースを大切にしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	市場に食材の買い物にも出かけ、旬の食材を取り入れて毎食利用者とホームの台所で調理している。家事が好きな利用者には、準備や後片付けに積極的に関わってもらったりと、各利用者の経験やできることにあわせて食事が楽しめるよう心がけている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の回数や方法等を常に利用者の希望を確認している。入浴の順番も利用者間で決めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備から後片付け、洗濯等を見守りを行いながら一緒にしている。散歩や買い物、カラオケ等の楽しみごとでもできるよう支援している。かつて飲食店を営んでいた方には得意なメニューを作ったり段取りや進行をお願いしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や、個々の利用者の希望や状況に応じて、毎日から週1回の個別に行きたいところへ行けるよう支援を行なっている。ホームセンターや市場へも買い物に行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上、中からは開くが、外からは開かないようにしている。建物の玄関であり、併設サービスのある1階は施錠しているが、ホーム利用者が出ようとすれば開けている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の立会いで防災訓練を年2回行っている。日頃から災害が起こった時の連絡体制等最低限のことは常に心がけている。地域の方にも日頃より協力を依頼しており、以前、火災報知器の誤報があった時、周辺の団地の住民や消防隊がすぐに駆けつけてくれた。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者体調、食事量や水分摂取の状況を把握している。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の趣味である習字や写真などの作品を掲示したり、風通しをよくして換気に配慮するなど居心地のよい空間作りに心がけている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族に依頼して、自宅で使用していたタンスやちゃぶ台、仏壇や表札等を持ち込んでもらう等、各利用者の入居前の生活を尊重している。</p>		

 は、重点項目。